

免疫発光測定装置『ルミパルス® G600Ⅱ』のご紹介

○山田 哲哉 (富士レビオ株式会社 学術サービス部 営業学術グループ)

弊社は 1992 年に全自動化学発光酵素免疫測定装置ルミパルス 1200 を発売、その後継機として 1996 年に発売したルミパルス f (フォルテ) は全国で 1000 台を超える設置となり、ルミパルスシステムは広く皆様にご愛顧いただけるようになりした。

その後、2005 年にはルミパルス PrestoⅡ、ルミパルス S、2008 年にはルミパルス f の後継機としてルミパルス G1200 をラインナップに加え、2014 年 7 月末現在、ルミパルスシリーズ全機種で 1300 台以上を全国の医療機関でご使用いただいております。

今回は 2014 年 5 月に発売致しましたルミパルス G600Ⅱについての製品特長、主な仕様をご紹介します。

【特徴】

- ルミパルス S の後継機として、同等の処理能力(最大 60 テスト/時、同時測定最大 8 項目)の小型卓上型のコンパクト設計です。
- データ処理部を本体一体型(タッチパネル)としたオールインワンタイプで、卓上型にふさわしい省スペース化を実現しました。
- ルミパルスシリーズ上位機種とのデータ互換性を実現、上位機種と同様に高精度な検査結果が得られます。
- モノテストカートリッジ試薬で、開封後の汚染が無く最後まで安心して使用でき、無駄がありません。

【主な仕様】

- 測定方法：CLEIA 法
(化学発光酵素免疫測定法)
- 分析方式：ランダムアクセス方式
- 同時分析項目数：最大 8 項目
- 検体処理能力：最大 60 テスト/時
- 電源：AC100～240 V 単相 50/60 Hz
- 装置寸法：W890×D725×H642 mm
- 重量：約 70kg

LUMIPULSE® G600Ⅱ



資料請求先：富士レビオ(株)
お客様コールセンター
(フリーダイヤル 0120-292-832)